幹事会の報告について

- 〇第3回 幹事会 平成29年5月18日(木)
 - (1)現状の取組状況の共有について
 - (2)取組方針のフォローアップについて
 - (3)今後のスケジュール (案) について
- ※参加者は次頁のとおり

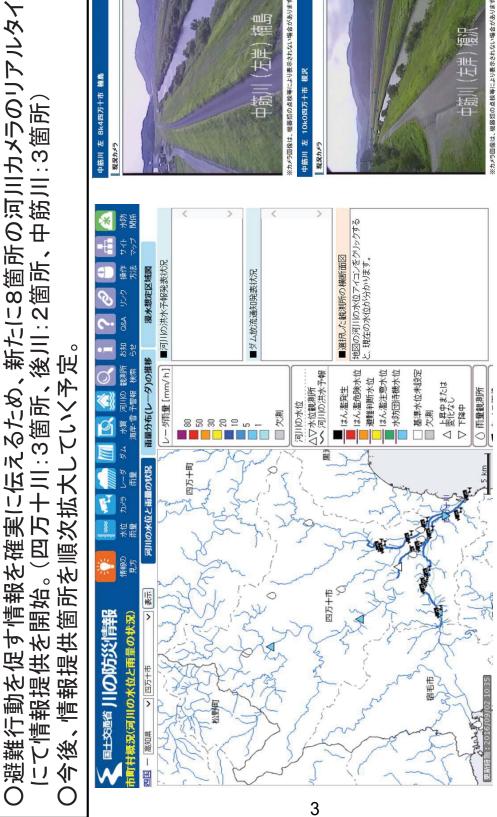
四万十川大規模氾濫に関する減災対策協議会 第3回幹事会 出席者名簿

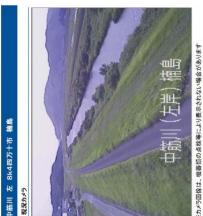
日時:平成29年5月18日 (木) 10:30~12:00 場所:中村河川国道事務所 別館2階 会議室

幹事会構成員			出欠					
所属	氏	名			1)用	有		
国土交通省四国地方整備局	香川	正好	出	代理:				
中村河川国道事務所 副所長	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	正好	Щ	同行:				
国土交通省四国地方整備局	宮地	正彦	出	代理:				
中村河川国道事務所 工務第一課長	田坦	111/多	[11]	同行:				
国土交通省四国地方整備局	森本	修三	出	代理:				
中筋川総合開発工事事務所 副所長	林平	炒 一		同行:				
国土交通省四国地方整備局	渡辺	雄二	出	代理:				
中筋川総合開発工事事務所 調査設計課長	1000	ДЕ	111	同行:				
気象庁	川上	幸則	出	代理:				
高知地方気象台 防災管理官	/11	十六1	111	同行:	水害対策第	(象官	谷脇	一也
高知県	大野	修史	欠	代理:	主幹 坂本	卜裕之		
土木部 河川課チーフ(計画担当)	八山	巨文	, ,	同行:				
高知県	近藤	雅道	出	代理:				
幡多土木事務所 技術次長	X1/14	7000		同行:				
高知県	山本	治良	出	代理:				
幡多土木事務所 河港建設課長	Д	102	<u> </u>	同行:				
四万十市 副市長	金納	聡志	出	代理:				
	327/17			同行:				
				代理:				
四万十市 地震防災課長	桑原	晶彦	出	同行:	課長補佐	濱田	英利	
	210//11	пп			係長	梶原	秀紀	
					主査	有光	浩	
四万十市 まちづくり課長	地曳	克介	出	代理:				
				同行:				
幡多中央消防組合 四万十消防署 署長	森	康幸	出	代理:				
	ZVIN	₩• F			警防第一位	系長 同	到田 往	正幸
四万十市自主防災会連合会 会長	多和	博嗣	出	代理:				
	<i>9</i> 1 H	1.41.00.0	111	同行:				

河川カメラのリアルタイム映像の情報提供箇所を拡大

○避難行動を促す情報を確実に伝えるため、新たに8箇所の河川カメラのリアルタイム映像を「川の防災情報」









四万十川 右 1k6四万十市 閩崎

四万十川 左 5k7四万十市 井沢 現況カメラ



カメラ画像は、機器類の点検等により表示されない場合があります



《カメラ画像は、機器類の点検等により表示されない場合があります

現況カメラ

後川 右 6k7四万十市 田野川

後川 左 2k8四万十市 谷の前

現況カメラ

ミカメラ画像は、機器類の点検等により表示されない場合があります

《カメラ画像は、機器類の点検等により表示されない場合があります

スマートフォン版 川の防災情報

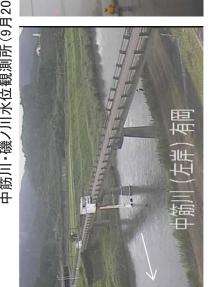
QR1-F

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく取組により、円滑に避難勧告を発令

- 四万十川大規模氾濫に関する減災対策協議会 -
- 国からなる「四万十川減災対策協議会」で検討された減災に関する取組方針に基づき、タイムライン や河川国道事務所長から自治体首長へのホットラインを実践。 击、帰、
- 台風16号から断続的に降雨が続いており今後の降雨により急激な水位上昇が予想されたことから、ホットラ インにより中村河川国道事務所と密に連携を図りつつ、四万十市が対象地域への避難勧告を想定より前倒 て発令。防災行政無線、広報車、IP告知端末、緊急速報メールにて避難を呼びかけ、消防・警察と連携し とパトロールを実施。

Įψ 4

中筋川·磯ノ川水位観測所(9月20日9:10)最高水位8.85m



平常時の中筋川・磯ノ川水位観測所



消防・警察によるパトロール

中村河川国道事務所から四万十市へのホットライン

雨量(mm) 10 15 1 2 3 4 5 6 7 8 9 101112131415161718192021222324 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10111213141516171819202122232 20日8:40 堤防決壊した場合の浸水想 定及び今後の水位状況につ レギロカメヤ 磯ノ川観測所における水位とホットライン・避難情報発令のタイミング ——磯/川水位観測所 計画高水位を超える予測に 四万十市へのリエゾン派遣 20日 5:06 排水ポンプ車の設置連絡 事務所警戒体制の連絡 20日725 20 目 6:20 ついて情報提供 平成28年9月20日台風16号における中筋川水位(磯ノ川水位観測所) ■ 山奈雨量観測所 19日17:59 今後の気象情報の提供・ 20 B7:09 避難指示発令 20 B6:06 遊難勧告発令 今後の気象情報及び予測 水位について情報提供、四 万十市の状況把握 凡例・ ホットライン・ 遊雑情報の発令 水防団待機水位(3.80m) 氾濫危険水位(8.11m) 避難判断水位(7.40m) 沿灣注意水位(5.50m) 計画高水位(8.367m) 水位(m) 12.00 11.00 10.00 9.00 8.00 7.00 00.9 4.00 0.00 5.00 3.00 2.00 1.00

四万十市中村·具同·東山·下田·八東·中筋·東中筋·後 20日6:06 避難勧告

四万十市中筋·東中筋·具同(中組·西組·中山団地)地区 ||·大川筋・蕨岡・富山地区(約12,000世帯、約32,000人) 20日7:09 避難指示

約1,700 中部約3,800人)

避難所へは最大94人が避難

- 四万十川大規模氾濫に関する減災対策協議会 国土交通省と連携した防災教育の取組(四万十市立八束小学校

○平成28年度は、5年生の社会科において授業を支援

○平成28年11月12日ふれあい文化祭で6年生が

「四万十川から学ぶ防災学習」を発表

- ※防災授業の全般的な内容は、出前講座を活用し、全学年に情報を提供
 - ○学校との協議を通じ、6月に板書計画(案)を決定
- 平成29年1~2月に防災に関する試行授業を実施予定
- 【授業内容】
- 自然災害の概要(災害事象、被害の説明)
- くらしを守るための対策(ハード整備状況、ソフト対策の内容)
- 自然災害が起こった時の対応(各機関の対応内容)
- 自然災害への備え(自助・共助











の取組(四万十市立八東小学校 恒 と連携した防災数

細 以 高 。 +

H

は、学習(災害婦) 四万十市の必火雪と自然を学ぶ 国土交通省(中村河川国道事務所)と八東小が連携

日本サミヤルが

八東小学校也は、今 年度より国土交通省(四国地方貨幣局でと連 株して、「四万十三か 三字京 成炭 敬書」 至于 一口口、全学年於四百 こう品本ひいつり川十

李京、全域元与月1 日本十二十八つとるる ことを目的として、か 村河川国道事務所の管 「因の十三、トガイな ロペーサット-中でも、哲情さくの怒 に百をかたおけていた 各学年の学習内容は

次のとおり - - 2年生 自然災害と私行ちの

田士

A()

(田学祖には会社の

四石十川李四のまと

(全枝子寫、守枝令

生かりなかび、中

村河川国道事家局の

台占さんからの閉き

ハニウィニタドート

とさめて御て、孫問

6

40 4W

HA 12

中村河中

1 to

本

+

2

B

4

発展として実施さ

水生生物調查 (マロマ田田も十三 支流中留川己史施)

水色の楽核 (9 四 0 四 数 輪 至 三 アカック技法銀馬

图、 4年生

の河口塔を実施)

耳をかただける人来小全夜児童

四月十七で一番のいのは風水宇

因的十年中,如此多 中午がで、おいしい食 べ物がたくさんでいる よることで、毎年、た くさんの観光をかだらと ず木る全国でも人気の

- や- . 目も十三代 時は、南紅非常にのく 8月~の月にかけては 台風がたみたみかって

大中が続くと、とて モ害色のいい回る十川 四年四年四四米人(

別とと長くとは経した。けしとした。

(田で十三の洪水)

台風14号

平成17年9月6日



京崎、問崎北区が、宋 生のまなべてこる。

八年四至でも内との

平依 8年0日の30頃 友はのな土枝害 たり、のう作物 とを聞いた。まくりは すぐそ二季で水が流れ 11年、1年、カロロヤ 、という間に水色が

そんな中、中口可り 国道章降所の人やは天

四万十市(八東地区)の地電尽・津浪被客を知るう

今回、本本河三国 道事務所の写情て人に も四万十石と同海地東 の関連に「いっても数え

生富分的手口に

てもられる ・似年前後の問むくで

を上して >をこと

· 3年以内の窓生在中 はるい作者

• 四た十三十多が母母素

度しゅうずれていいの (みれがかかかり)

○ ろくめはで津沢が来 て、も時間以上くり、か

イントナレアノカ かどの法を聞いて、今 まで以上に売わしまが

君した。

照於 6 無時 太服户 6 被災以免 四年東山見也 てもりった。特に四ろ ナキのシンボル アカカ 京野橋、万はトレト、る 日本のようかした。

南海地震がたって、 済水が未るまでの時間 かが大の深いわりっち アロンともはなる人

智性出用いあらばく の飲め、ちあっとかり 清寒が到陽し、ひから 6 EWX + town x 1.5.5, ていた。数し、力時に 想形が形とすれば、と イヤが、は、、、たソンイ ことを具刻に考えたる 华中中、到了 6年中 目分でかるために、頭

いなとをなくるの 気の前にあるっ漂然 以本に と世界方法の次 ちますして関いた。 お馬が何いんか、大

ヒッカ ヨウなロタヨ いちこと、前の衝撃 としていれないからと と聞いて、少し多べは したる、門、大外引港大

②河川管理(京楼) 放在丁香投下二於戶

、付、方点棒至寸品 3万三四四(松珍) 田法水時の対応

領査や川かはんろく - もっキャドナウシ の水を排水ポンス車 子でリニン中出して

八東地区にも、李恭 光水門、朱崎福門、 東崎福管の袋置かあ

中村四川国道事務所 で移く人たまは、「四 た十川はは年に1日の 災事(米人口口) "上上 任立事之事付取り組件



わ地域を突害からかっ トヘキトこの中本道二 国道事務所の人たちの 付事は、命がけて大変 はならない。大の日本 事だと思う。

「談勘中職小 後にくいとの だけではなく、各会の なために、 € ままでまは粗倒が変傷 土炭面省中村 して、成立へたよにも 年 6× たかな

4

f政社

何かたちわか

など、)

風水寧·地震

图

XX

3

E

16

+

*

*

品

4

そのたも下江. 100 - トニル· 品、公司·米的一个十

- アードに、サイロで 防災について答えよう

つ でし、1c 色光符

自分のなかりノナラ ひこ もこんを残かはい

個人や気近所で野法 できないことなる町標 医に出版:フィン。] 於高]

月分のカではしろに もならない年日、十十 ひらまするおう。

m (E+- D- IN 艺二的仁, 目上原文组 **窓の取り組みで送れて**



河川管理(八東地区の施設)

四石十川七ほくたち

- 病院、介護施設などを含む全13機関により、平成28年9月台風16 号における防災行動を振り返り、課題等を抽出。 〇四万十市や県、警察、消防、電力、鉄道、
- 〇住民の避難に対する意識向上を新たな課題として位置付け、地域防災力及び住民意識の向上に向けた取組 を本検討会で検討していくことを決定。
- つまた、想定ハザードを想定最大規模の降雨に伴う浸水想定に見直し、水害リスクを関係機関で共有。
- ○今後、情報伝達訓練・住民避難訓練により、タイムラインの改善・改良を行うとともに、課題解決に向けて検討 していくことを確認。

海川流域を対象としたタイムライン検討の経緯

ダニ 急みの グット・プレイン アンプログロ	内容	・座長の選出 ・タイムラインの目的と効果及び全国における検討状況について説明 ・四万十市を対象としたタイムラインの検討 ・ワーキンググループ(避難WG、水防・交通WG)の設置	・想定ハザード(計画規模)、検討エリア、検討テーマの設定・現行計画の課題把握、過去の災害対応の振り返りによる課題把握・テーマ別「避難」「水防・交通」による事前防災行動の抽出	・テーマ別「避難」「水防・交通」による事前防災行動の抽出 ・関係機関と連携すべき事前防災行動	・タイムライン素案に関する関係機関の意見調整 ・タイムラインの運用について	・タイムライン(素案)、運用について・次年度以降の活動について
<u> </u>	開催時期	平成27年12月4日 第1回タイムライン検討会	平成28年1月22日 第1回ワーキンググループ会議	平成28年2月17日 第2回ワーキンググループ会議	平成28年2月26日 第3回ワーキンググループ会議	平成28年3月16日 第2回タイムライン検討会
	年度	7	H27			

渡川流域を対象としたタイムライン(案)の作成、試行しながら改善・改良を図る

奉雨に伴う漫水想 り	峰雨に伴う浸水想。 E演習・住民避難割
・平成28年9月台風16号の振り返り ・想定ハザードの見直し(想定最大規模の降雨に伴う浸水想:	・平成28年9月台風16号の振り返り結果 ・想定ハザードの見直し(想定最大規模の降雨に伴う浸水想) ・今年度のスケジュールについて(情報伝達演習・住民避難1)
平成28年12月2日 第4回ワーキンググループ会議	平成28年12月16日 第3回タイムライン検討会
	H28



第4回ワーキンググループ会議(平成28年12月2日開催)



第3回タイムライン検討会(平成28年12月16日開催)

訓練など)

(近

(定

渡川流域を対象としたタイムライン(案)の改善・改良と継続した検討

- 四万十川大規模氾濫に関する減災対策協議会

Control of the cont		们创. 大旬春港				100-1			
	公本/開刊公司	## HE ##		自治体	防災関係機関	ライフライン四回番サーバエエ	交通機関 +#/ス/ ☆維達 まめ需要な選	要援護者施設	住民等
The control of the		Z Z							
Control Cont									
Comparison									
Control Cont									
Control Cont			○で候画所のハドユール(県) ○防災資機材の点検(県)		○浸水防止資機材の点検 ○危険箇所のパトロール				
		の接近	(気象台)特別警報級の台風になる可能性があること		料断の検討開始	〇復旧に必要な通信ケーブル等の	MEMI (NTT)		Oテレビ、ラジオ、インターキット
Control Cont				○対応方針金牒の開催、庁内情報共有 ○内水排放対策業者との調整連絡 ○市道の事前巡視 ○住民からの上のう要請に傭える準備					等による気象警報等の確認 〇ハザードマップ等による避難 所・避難ルートの確認 〇防災グッズの準備 〇自宅保全
Control Cont	暴風·波浪警報		1	広域遊離勧告完令の可能性を関係機関に → 災害対策本部の設置	╙			医師会を含めた要支援者の移送	
Control of the cont			1	広域遊離勧告の発令	 	-	->		大な海難の開始
Companies of the control of the co			の情報提供(記者発表会見)	広域遊難対象エリア、遊離場所の住民へ(▼	Ц	災害時の電話設備対応	広域避難者輸送の協力	要支援者の広域遊難開始	
CAMERING AND PROPERTY OF THE			流入抑制の7	ための交通規制の実施(国、県、市)			〇両車言戦装直の監視(工佐くら) 〇運行状況の利用者への周知(土	佐(ろ)	
Comparison Com			〇災害対策用資機材、復旧用資機材の準備(国)	○内水排除対策準備 ○住民への土のうの配布 ○学校・保育所等関係機関へ情報提供		〇彭備点被ハトロール(NIT) 〇移動式衛星電話等の準備(NTT) 〇防潮板の設置(NTT)		○通所利用者への中止連絡 ○輸送計画・受入病院等との調整 ○入所者の外沪調整	
1997年 19	大雨·洪水警報			$\overline{}$					
(1985年8月 1995年8月 1	台風の特別警報		〇重要水防箇所の巡視(県)	【注意体制配備】 〇道路の早期冠水箇所に監視員を配備 〇内水排除対策配備			○バス等車両の高台退避(西南交)○運行情報の提供(土佐くろ)	(関	
Control of Control	新城市								-
Contract Contrac			〇県道の通行止め、通行止め情報を関係機関へ連絡(県)		〇交通整理の開始				
			【国·災害対策支部·注意体制】 [県·水防2号配備]		〇四万十市にフェンン派遣(警察、消防)	【災害対策本部設置(四電)】 →作用休割の確立 1.目の確保	○施設保全の実施(土佐<ろ) ○鉄道の運体(+体<ス)	【情報収集体制(いろは館)】※内水	発生後
		水防団待機水位到嶭	···· 水防警報(待機·準備)	〇種二・ポノノ・海半の一族た		子供のガン、ドボンはよことに	つせてははいい		
1		内水氾濫発生	○福門・ボンブ揚等の漢作(国)○水口予測の美治・清穀法 	供 (国一四万十市・幡多エ不) 					
			〇中村盾专道路の通行止の、連行止の所對公開地域國二 【国·災害対策支部・警戒体制】【県・水防3号配備】	(国) 場面(国)			〇車両の高架部移動(土佐(ろ)		
		氾濫注意水位到達	**************************************		〇水防巡視(消防団)				
			〇河川巡視・一般被害調査の実施(国)						
「		水防団待機水位到達							
(国) 支援対域をある			構島・具同地区の国道56号通行			開設した避難所情報の収集(四電))
ACM			- I			・状況に応じ難所等への優先送電※事件の事件の事件が指		台信者の母入体制(病院)	
A CASE AND CONTROL OF A CASE AND CONTROL		避難判断水位到達		中的川-遊難準備情報 遊難月	開設・	火台での mg na ng		一人所者の輸送開始(いろは館)	避難の開始
Control of Control		氾濫注意水位到達				・衛星携帯電話の貸し出し・移動式公衆電話の設置		〇被害状況の情報収集(いろは館) 〇応急活動の実施(いろは館)	○防災無線、携帯メー/ よる避難準備情報の受
A CALE SHOPE A		美丽井子会林佛具	〇自治体にリエブン派遣(国) 〇協定業者へ連絡(国			〇業務用車両、資機材の高台移動		※以降継続	○避難の準備(要配慮
			_	加速車加口 第24 年 14 年 17 日					○防災無線、携帯メー、 「Z 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
内水氾濫発生 (国・水防空機能に対して (国・水防空機能に対して (国・水防空機能に対して (国・水防空機能に対して (国・水防空機能に対して (国・水防空機能に対して (国・水防空機能を対して (国・水防空機に対して (国・水防空機能を対して (国・水防空機に対して (国・水防空機に対して (国・水防空機に対して (国・水防空機に対して (国・水防空機に対して (国・水防空機に対して (国・水防空機に対して (国・水防空機に対して (国・水防空機に対して (国・水下が関係を対して (国・水下が対し (国・水下が対して (国・水下が対して (国・水下が対して (国・水下が対し (国・水下が対し (国・水下が対し (国・水下が対し			水位間がボットライ		小照谈				よる対策 指示・対策制に信
		内水氾濫発生	排水機場の運転停止要請(国)	里取停止 3. 治作用人会运货指示	※女道三分子在「下口達第				
				C. ARINITAL SON SERVIEW					
Ach	¹ WY	破堤氾濫発	水位周知情報(氾濫発生情報)	中筋川・遊離指示 「					ı
(1) 本の	•		水位周知情報(氾濫危険情報)	後川·遊難勧告					
(4) 10 本金件 (本格) 別達 (本格) 本の周知権等(12 記念主意作等) 本の日本を作業(13 別達 (本格) 2 本を作品の記念主意作等) 本の日本を作業(13 別達 (本本) 2 本を (12 名を 2 Aを (12 名を 2 Aを (12 Aを (十川実施	○俄書状況の調査 ○牧出、教護活動の実施 ※以降継続				
水が回降機水位到達 水が磨板(特機・準備) 水が磨板(出動) 水が磨板(出動) 水が配換(角筋面) の水形域(角筋面) の水形域(角筋面) 20 20 20 20 20 20 20 2		提加點條件 []	水位周知情報(氾濫発生情報)	難指示					H
共大子報(D.監告監情報) 水防電機(開助) 企業監信報報 企業監管監信報報 企業監管監信報 企業監管監管監管監管 企業監管監管監管監管 企業監管監管監管 企業監管監管監管 企業監管監管監管 企業監管監管 企業監管監管 企業監管監管監管 企業監管監管 企業監管 企業		}							
其外子報(D监營要抗権制) 四万十川(無理都)・選輯·報告 20万十川(無理都)・選輯·報告 20万十川(無理都)・選輯·報告 20万十川(無理都)・選輯·報告 20万十川(無理都)・選輯·報告 20万十川(有理都)・選輯·報告 20万十川(有理都)・選輯·報告			達 洪水予報(氾濫注意情報)		〇水防巡視(消防団)				
以本子報(D2監免性権制) 四万十川(無規制) 避難指示 四万十川(有規制) 避難指示 四万十川(有規制) 避難指揮 四万十川(有規制) 避難指揮 四万十川(有規制) 避難指揮			三 東區	堤部)・避難準備情報	集所關股				
			Π.			i			
日の十二(小漁場)・機構製作 日の十二(小漁場)・機構製作 日の十二(小漁場)・機構製作 日の十三(小漁場)・機構製作 日の十三(小漁場)・機構製作 日の十三(小漁場)・機構製作 日の十三(小漁場)・機構製作 日の十三(小漁場)・機構製作 日の十三(小漁場)・機構製作		溢水氾濫発生	M,						
「		遊難判断水位(有提)							
		氾濫危険水位(有堤)		四万十川(有堤部)・避難勧告					
			1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1111111	H	1	

要配慮者利用施設の管理者向けに防災気象情報の活用について説明を実施

(実施機関】 高知地方気象台 高知県 四国地方整備局 一水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会において「防災気象情報の活用について」の 説明を実施~

- 1. 実施日時:平成29年2月3日(金) 13:30~
- 2. 会場:四万十市立文化センター
- 目的:高知地方気象台が発表している各防災気象情報について紹介
- の把握や求められる行動等について理解を深めていただくことを目的 し、これらの防災気象情報を用いて、水害・土砂災害に対する危険度 とする。

9

4. 参加者:要配慮者利用施設の管理者

説明会の様子





水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会とこる 高^{海無乗展文化ホール (オレンジ)}とこる 安芸市民会館ところ 安芸市民会館ところ 四万十市立文化センターところ 四万十市立文化センター国土交通省・高知県

高知地方気象台が、発信する防災気象情報を用いて、水害・土砂災害から、命を守る行動に繋がっていくものと考えられる。

- 〇想定最大規模降雨による浸水を想定し、住民及び要配慮者利用施設における避難訓練を市、国、警察、消防、 バス会社、介護施設等の関係機関が合同で実施しました。
- 〇浸水しない高台の避難所へ避難させるため、警察、消防による避難誘導や移送バスの要請など、関係機関が
 - 連携して介護施設の入所・通所者を避難させました。
- 〇訓練の結果、介護施設から堤防へのアクセスがスムーズにいかない、避難場所のグランド入口が狭く、大型バ
- スが通行できないなどの課題が見られました。
- 〇各地区で避難訓練等を実施し、避難する際の課題などを確認しておく必要があります。

平成29年2月25日 (土) 10:00~11:00

所:指定緊急避難場所(中村西中学校)

具同地区区長・自主防災組織(約30名) 参加者: 介護老人保健施設いろは館(入所・通所者5名)

四万十消防署、高知西南交通(株) 中村警察署、 四万十市、

中村河川国道事務所



高台の避難所まで警察が誘導



右:介護施設車両 左:消防車両



バス会社に要請し、介護施設の通所者の輸送を実施

- 四万十川大規模氾濫に関する減災対策協議会 -

〇四万十市具同地区の区長、自主防災組織を対象に防災気象情報の活用や情報の入手方法等について学習 会を開催しました。 (約30名が参加)

川では避難判断水位に到達する前に内水が始まった、内水の状況を考慮した情報提供をしてほしい。」などの 〇参加者からは、「防災を考える上では女性の視点も重要なので、女性が参加できる取組をしてほしい。」「中筋 意見が出されました。

| 時:平成29年2月25日(土)11:00~12:00

場 所:中村西中学校 体育館

参加者:具同地区区長·自主防災組織(約30名)

四万十市、高知県幡多土木事務所、中村警察署、四万十消防署、国電力(株)、NTT、土佐くろしお鉄道、高知西南交通(株)、介護之人保健施設いろは館、高知地方気象台、中村河川国道事務所

説明内容:命を守るための防災気象情報(高知地方気象台) 大規模水害に備えて(中村河川国道事務所)



即

四国電力(株)による啓発ポスター



NTTによる災害伝サービスの啓発



講演の状況(左:高知地方気象台、右:中村河川国道事務所)



意見交換の状況